

大雄会の 専門家に聞いてみよう!

Daiyukai Health System

糖尿病入院のすゝめ

「これからの糖尿病との付き合いを丁寧にサポート致します」
「糖尿病で入院？」と多くの方は思ったはずです。「忙しい、症状もない、そもそも糖尿病で入院？」など…まだまだあると思います。今回からはそんな疑問にお答えしていきます。

第二回「入院したら何をするの？」大きく3つ、①糖尿病への理解を深めるための情報提供、②糖尿病と合併症の検査評価、③適切な治療法の選択です。

食事・運動・薬が糖尿病治療の三本柱になりますが、いずれの治療でもご自分で取り組まないといけないことが沢山あります。日常生活と治療が複雑に関係していることから、糖尿病入院ではまず日常的に糖尿病とうまくお付き合いするために必要な情報を経験豊富な職種からわかりやすくお伝えしています。例えば看護師・管理栄養士・理学療法士などから、糖尿病の一般知識や注意点、栄養バランスを意識した食事の選び方、健康的な運動などをお伝えしています。(このほかにもまだまだたくさんあります。)2つ目に、糖尿病は全身に合併症や併存症を起こすため、採血や蓄尿(1日尿を

ためる検査)、エコーやCTなどの画像検査、神経伝達速度や血管年齢検査などの生理検査を行い、糖尿病と全身の合併症をしっかりと調べます。必要な場合は内分泌・糖尿病内科以外の診療科とも連携しながら全身状態の評価を行います。そして最後に、以上を踏まえたうえで、インスリン治療や薬物療法、生活介入など適切な治療方法の選択を行っていきます。病院毎で多少の違いはありますが、大きくこの3つを短期集中的に行うことで糖尿病のない方と変わらない人生を送ることができるよう皆さんをサポートしていきます。

糖尿病入院について少し疑問が解けたでしょうか。今回の連載で少しでも皆さんの役に立てたのなら幸いです。糖尿病とうまくお付き合いしながら健康で幸せな人生を送っていきましょう。



監修

内分泌・糖尿病内科診療部長

はしもと まさや
橋本 昌哉 医師

〈主な資格〉

- ・日本糖尿病学会認定糖尿病専門医
- ・日本内分泌学会認定
内分泌代謝科専門医

